

【科目名】言語発達障害学概論		【担当教員】阿志賀 大和 (メールアドレス)							
【授業区分】ST 専門言語聴覚障害学	【授業コード】5-29-1110-0-1	(オフィスアワー) 来校時に対応							
【開講時期】2 年次 後期	【選択必修】必修								
【単位数】2	【コマ数】15								
<b>【注意事項】</b> (受講者に関わる情報・履修条件) 各コマの最初に小テストを行い、その点数も成績に反映するため、事前に連絡がない場合またはやむをえない事情を証明できない遅刻・欠席によって小テストを受けられなくても点数を与えない。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 言語発達学で学んだ知識を基礎として、講義を進めるため、受講にあたって復習しておくこと。 遅刻、欠席、早退は学則に従う。講義中の私語は慎むこと。									
<b>【講義概要】</b> (目的) ことばの発達の障害には、さまざまな原因があり、発達全体からみた言語発達障害について理解できる。 (方法) 発達障害に見られることばの遅れを主な観点として講義を進め、その障害特徴と小児期だけでなく、生涯発達の観点からも概説する。									
<b>【一般教育目標(GIO)】</b> 言語獲得の障害とその症状、および原因となる種々の領域との関連を理解できる。 <b>【行動目標(SBO)】</b> 種々の発達障害の定義と特性、症状について説明できる。									
<b>【教科書・リザーブドブック】</b> 石田宏代、大石敬子：言語聴覚士のための言語発達障害学、医歯薬出版、2008. ¥4,620									
<b>【参考書】</b> 宇野 彰編著：ことばとこころの発達と障害、永井書店、2007. 7,350									
<b>【評価に関わる情報】</b> (評価の基準・方法) 成績評価基準は、本学学則規定の GPA 制度に従う。 小テスト (20%)、受講態度 (5%)、試験成績 (75%) で評価する。									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		75	20	0	0	0	0	5	100 点
評価指標	取り込む力・知識	75	20	0	0	0	0	0	95 点
	思考・推論・創造の力	0	0	0	0	0	0	0	0
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	0	0	0	0	0
	発表力	0	0	0	0	0	0	0	0

平成 26～28 年度入学者用

	学修に取り組む姿勢	0	0	0	0	0	0	5	5 点
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営 方法		学修課題(予習・復習)				時間 (分)	
1	言語発達とは 言語発達の概要について学ぶ	講義		次コマ冒頭の小テストに むけて復習すること				20	
2	言語発達障害とは 言語発達障害の種類と概要について学ぶ	講義		次コマ冒頭の小テストに むけて復習すること				20	
3	知的障害 症状を主に概説する	講義		次コマ冒頭の小テストに むけて復習すること				20	
4	自閉症スペクトラム障害 症状を主に概説する	講義		次コマ冒頭の小テストに むけて復習すること				20	
5	特異的言語発達障害 症状を主に概説する	講義		次コマ冒頭の小テストに むけて復習すること				20	
6	学習障害 症状を主に概説する	講義		次コマ冒頭の小テストに むけて復習すること				20	
7	注意欠如・多動性障害 症状を主に概説する	講義		次コマ冒頭の小テストに むけて復習すること				20	
8	発達性協調運動障害 症状を主に概説する	講義		次コマ冒頭の小テストに むけて復習すること				20	
9	小児失語 症状を主に概説する	講義		次コマ冒頭の小テストに むけて復習すること				20	
10	脳性麻痺、重症心身障害 症状を主に概説する	講義		次コマ冒頭の小テストに むけて復習すること				20	
11	その他の言語発達に関する障害① 吃音、場面緘黙、チック	講義		次コマ冒頭の小テストに むけて復習すること				20	
12	その他の言語発達に関する障害② 聴覚障害、器質性・機能的構音障害	講義		次コマ冒頭の小テストに むけて復習すること				20	
13	言語発達、認知発達に関する検査 言語発達に関する評価について概説する	講義		次コマ冒頭の小テストに むけて復習すること				20	
14	言語発達障害へのアプローチ 言語発達障害へのアプローチ法を概説する	講義		次コマ冒頭の小テストに むけて復習すること				20	
15	まとめ これまでの総括を行う	講義		試験にむけてこれまでの 内容を復習すること				20	

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。